

極真会館 難波宮杯 大会規約

【 審判基準 】

審判員は同等の権限をもって競技の審査に当るが、競技に対する最終決定は、審判長の裁可による。

組手試合の規定時間は1試合につき原則2分とする。但し、必要と認めた場合は、審判長の裁量により、改めて時間を設定することもありうる。

大会進行は、極力スケジュールに沿わせるが、止むを得ない事態が起きた場合は、審判長が変更を指示することができる。

審判長

特別主審

主 審

副 審

【 組 手 】 出場の選手は、必ず確認願います。

①組手は、原則として1試合2分間とする

但し、出場数により試合時間の変更あり

②組手の勝者は、一本勝ち・判定勝ち・相手の反則及び失格による勝ちにより判定される

③一本勝ち

④反則箇所を除く部分へ、突き・蹴り・肘打ち等を決め、相手選手を3秒以上ダウンさせるか、戦意を喪失させた時

⑤技ありを2回取った時

⑥技あり

反則箇所を除く部分へ、突き・蹴り・肘打ち等を決め、相手選手を一時的にダウンさせるも、2秒以内に立ち上がった時

⑦判定

⑧一本勝ち、失格がない場合は、主審1名、副審4(2)名の内、3(2)名以上の審判の判定で決める。

判定が決まらない場合は、延長戦1分を行う
延長戦は、準決勝以上について2回迄とする

⑨延長戦(準決勝戦以上は再延長戦)は、マストシステムにての判定になります

⑩反則

⑪拳・肘による顔面殴打⑫金的蹴り⑬頭突き

⑭貫手による首から上への攻撃

⑮ダウンした相手に攻撃を当てた時

⑯以上の他、審判員が特に反則と見なした時

⑰相手の道着や体を掴んだ時

⑱手掛けした時。 ⑲①掌底による押し

⑲反則は、悪質なものを除き注意が与えられ
注意2で減点1、減点2で失格となる

⑳反則での上段膝蹴りは減点になる時もある

㉑初級の部で上段膝蹴りが当たった時

㉒失格

㉓申告した身長・体重が著しく異なる時

㉔試合中、審判の指示に従わない時

㉕出場時刻に遅れたり、出場しない時

㉖粗暴な振舞い、故意による反則等悪質な
試合態度と主審が判断した時

㉗減点が2となった時

㉘注意

㉙本大会は、掛け逃げ防止及び、試合時間を有効に活用するため、**胴廻し回転蹴りを禁止します**。注意又は失格になる場合あり

㉚**上級、中学、一般のみ上段膝蹴り有効です**